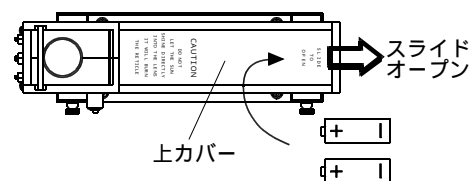


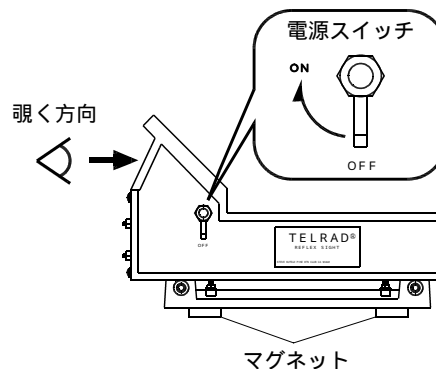
電池の入れ方（交換）

上カバーをスライドさせて外し、アルカリ単3電池2本を極性（+ / -）を間違えない様に注意して入れます。



取付方法

照準を合わせる対象物の方向（覗く方向）に反射照準器を取り付けます。マグネットによる取り付けです。



電源スイッチの操作

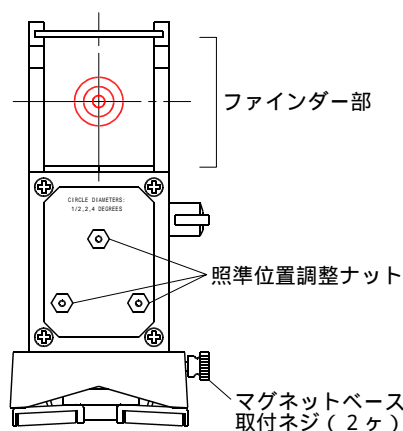
電源スイッチのレバーをOFFから”カチッ”と音がするまで、レバーを回します。電源がONになります。電源をOFFにする場合は、逆にOFFの位置まで”カチッ”と音がするまでレバーを回します。

照準の調整方法

電源スイッチをONし、数秒後にファインダー部を覗くと3つの照準円（赤色）がガラス面に反射されて撮し出されます。

照準円の中心が、ガラス面の中心にくる様に、3点の照準位置調整ナットを手で回し調整します。3点のナットで上下左右を合わせます。

この時点で、照準を合わせる対象物が照準円の中心からずれている場合は、照準器本体をマグネットベースごと取り付け直してください。



その他

マグネットベース取付ネジ2ヶを外すと、本体とマグネットベースを分離できます。照準器本体を保管する場合などに利用できます。

照準円が見えなくなったら、電池を交換してください。



ファインダー部から直接太陽光を見ないでください。目を痛めると共に、レンズを介して内部の照準円装置の焼損の原因となります。



長期間使用しない場合は、電池を必ず抜いて保管してください。電池の液漏れ等により故障の原因となります。



器具を分解したり改造しないでください。故障・感電・火災の原因となります。

